

町商工会創立50周年

記念式典が開催



5月15日、総合文化センターで積丹町商工会創立50周年、同青年部45周年、同女性部40周年記念式典と、松山千春氏「ロマンの碑」除幕式並びに「こどもり特産市」オープン記念祝賀会が開催され、町内外から訪れた多数の招待者が記念の節目を祝いました。

山本俊三商工会長は「今日、積丹町商工会があるのは、ひとえに会員各位のたゆまぬご協力と歴代役職員の多くのご労苦と

ご尽力、更には各関係機関のご指導とご支援の賜物、深く感謝を申し上げます。」と挨拶し、宮川後志振興局長や松井町長、佐藤町議会議長（田村副議長代読）や堀川後志管内商工会連合会長（代読）も祝辞の中で、敬意の言葉と今後の地域経済の牽引役としての役割に期待を述べられました。

また、式典の冒頭では同会長



山本俊三第五代積丹町商工会長



葛西女性部長の「黒田節」

と葛西女性部長、中浜青年部長から「しゃこたん夢あかり」などの同商工会活動の支援と協力に尽くされた団体・会社へ感謝状が贈られ、受賞者を代表して美国婦人会長の戸来和子さんが謝辞を述べられました。

式典終了後に行われた記念祝賀会では、美国町出身の下淵央さんによる松山千春氏の楽曲の演奏や、同女性部長の葛西幸子さんによる舞踊、町鯉場音頭保存会による正調鯉場音頭が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

昭和38年10月27日に61名の参加者で設立総会が開催され、故梅野晴三郎氏を初代会長に創立された積丹町商工会。102名の同会員の皆さんに、今後も町の総合的な経済団体としての活躍を期待します。

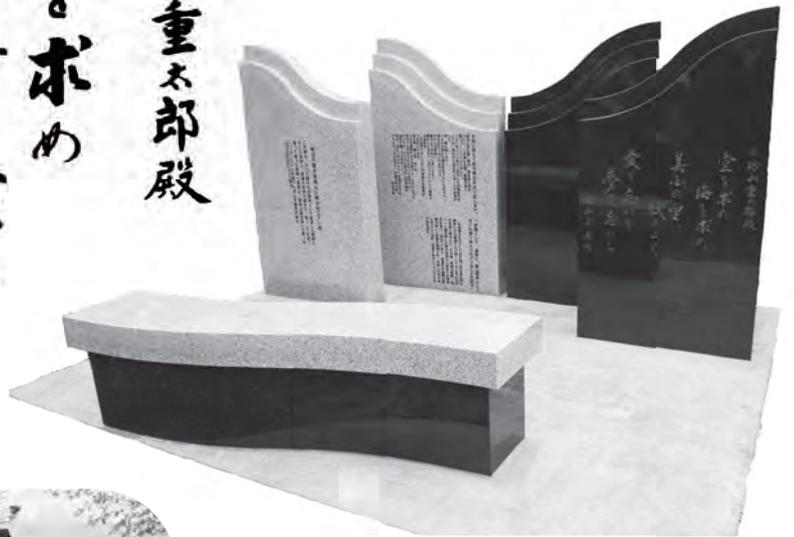


戸来和子美国婦人会長

松山千春氏「ロマンの碑」

除幕式が挙

故砂山重太郎殿
空を求め
海を求め
美玉の里に
眠りつく
愛を忘れな
夢を忘れな
松山千春作



松山千春氏が曾祖父に捧げるロマン碑

この碑は、かつて鯨の千石場所として繁栄した美国と、そこに漂泊し、鯨場の抗争の渦中に、若くして壮烈に散って逝った剣客（松山千春氏の曾祖父、故砂山重太郎氏）への限りない情熱とロマンを詩った松山千春氏の詩を刻んだものです。

碑に添えられた詩文

自分の空を探し求め、海を探し求め、ついに、この美しき国、美国の地に眠りにつくことになりました。

28年という短い人生でしたが、波瀾万丈、とても幸せな人生をおくることが出来ました。

今君に残します。

いかなる時にも愛を忘れてはいけません。夢を忘れてはいけません。それとは裏腹に、愛なんて忘れてしまいなさい。夢なんて忘れてしまいなさいという相反する言葉を、この世界ではいつもこの相反する言葉がつきまといます。

白と黒、善と悪、右と左、それを選択するのは君です。それひとつで幸せにも不幸せにもなりうるのです。

そうです。いつでも自分の人生の鍵は自分が握っているのです。君は“忘れてはいけない”を選びますか。それとも“忘れなさい”を選びますか。

50周年記念式典に合わせ、町商工会が昨年12月に黄金岬へ移設工事が完了した『松山千春氏「ロマンの碑」』の除幕式が、主催者の山本商工会長のほか、松井町長、宮川後志総合振興局長、田村町議会副議長など多数の来賓が出席して、挙行されました。

この石碑は、昭和57年に当時の商工会青年部の手によって、松山千春氏より建立場所として強い要望があった「海の見える小高い丘」として、美国漁港を望むことの出来た旧美国小学校跡地（現在の研修センター）へ建立されましたが、設置から32年が経過し、老朽化が進んでいるため、美し

い海と共に宝島・ゴメ島を眺望できる高台であり、町内屈指の展望地である黄金岬へと移設が行われたものです。

この度の移設は、この「ロマンの碑」と積丹三大岬の1つ「黄金岬」が融合した新たな観光名所として、更なる観光の振興に繋がることに願いを込めたものです。

なお、この「ロマンの碑」の移設事業には、協働のまちづくりを支え、町民の皆さんの地域活動を支援するために設けられている「町まちづくり活動支援基金補助金」が活用されました。